

# 山鼻未来・ネットワーク協議会 NEWS

この紙面は、山鼻未来・ネットワーク協議会やその構成団体が主に令和5年度上期に実施した行事の様子について、皆様にお知らせするものです。  
(協議会構成団体を最後のページで紹介しています)

令和5年10月1日

●発行●

山鼻未来・ネットワーク協議会  
(事務局:山鼻まちづくりセンター)  
TEL511-6371

## 山鼻未来・ネットワーク協議会総会行 (5月29日(月))

令和5年度の協議会総会が山鼻会館で開催され、令和4年度の事業報告や令和5年度の各事業計画案が承認されました。

## 山鼻少年消防クラブの始動式 (6月4日(日)) [山鼻町内会連合会]

中央消防署山鼻出張所車庫内において、山鼻少年消防クラブ始動式を実施しました。山鼻少年消防クラブ始動式では、クラブ活動に対するクラブ員の士気向上を図るとともに、クラブ員と指導者、出張所員との顔合わせを行って、少年消防クラブ員の結束を深めました。また、始動式後には、消防の基本である規律訓練も行いました。



▲始動式の様子

## 札幌まつり・山車<sup>だし</sup>巡行 (6月15日(水)・16日(木)) [第三山鼻祭典区]

今年も、北海道神宮例大祭(札幌まつり)が開催され、6月15日には、山車行列が山鼻地区の各町内を巡行しました。午前8時、電車事業所そばにある第三祭典区の祭典会館で出発式が開催され、青空の下、島判官の人形を乗せた大きく絢爛な山車が会館を出発。山車行列は数十メートルにも及び、沿道で、華麗な囃子(はやし)と踊りを披露しました。山鼻小学校では、児童や近所の保育園の子どもたちが山車を拍手と歓声で迎え、にぎわいました。

▼【左・真ん中】6月15日山鼻地区での巡行の様子。【右】6月16日市内中心部での様子。



翌16日も晴れ。初夏の日差しの中、他の地区もあわせた山車が北海道神宮を出発して、市内中心部を練り歩く、みこし渡御が行われました。



沿道には多くの市民が集まり、色とりどりの衣装をまとった行列や各地区の山車行列に完成を上げていました。

### 藻岩山自然観察登山（6月19日（日））〔山鼻地区青少年育成委員会〕

新緑のなか、野鳥や草花・樹木などを観察しながら登山を楽しむ藻岩山自然観察登山が開催され、小学生から高齢者まで、スタッフを含めた計30名が参加しました。

登山口に集合後、参加者全員で記念撮影をして、順次スタート。各自、事前に配布された藻岩山の小冊子を手にとり、山頂を目指しました。

曇り空でしたが、涼しく爽やかな天候の中、みなさん、藻岩山の豊かな自然を満喫できました。



▲ 6月19日登山の様子

### 山鼻地区モルック講習体験会（6月25日（土））〔山鼻スポーツ振興会〕

昨年に引き続き、山鼻会館横の中央区ゲートボール場で、モルック講習体験会が開催されました。モルックは、地面に並べた複数の木のピンをめぐらして木の棒を投げ、点数を競うフィンランド発祥のスポーツです、年齢に関係なく、また、初めての方でも楽しめます。

当日は、未就学のお子さんから高齢者まで25名が参加。

はじめに

地域のモルックワークのメンバーから、ルールやコツを教わると、さっそく競技開始。皆さん、新緑の藻岩山をバックに、真剣な表情でピンめがけて、木の棒を投げていました。



▲ 6月25日体験会の様子

▼モルックの木のピン



## 山鼻地区夏の交通安全街頭啓発（7月20日（木））

〔町内会連合会、交通安全実践会、交通安全指導員会、交通安全母の会〕

7月20日に、夏の交通安全市民総ぐるみ運動に合わせ、山鼻地区の夏の交通安全街頭啓発を実施しました。当日は、30度に迫る暑い日でしたが、関係機関含めて118名の方が参加し、南23～24条の石山通でドライバーに向け、交通安全を呼びかけました。

また、この日は、南警察署の警察官がランニング等により管内の各地区をまわり、住民が作成した交通安全のメッセージを受け取る「札南道中ひざくりげ～七夕」も行われました。「交通事故のない山鼻になりますように」など町内会やPTAの皆さんが作成したメッセージを、阿部町連会長らが山鼻地区を代表してメッセージボードに貼りだしました。



▲ 7月20日石山通での街頭啓発の様子

## 山鼻地区避難所運営研修（7月24日（月）〔山鼻町内会連合会〕

▼ 7月24日幌南小学校での研修の様子



7月24日、指定避難所（基幹）となる幌南小学校で、札幌市危機管理対策室が主催する避難所運営研修が開催されました。

山鼻地区からは、山鼻中学校には約15名が近隣の町内会から参加し、避難所開設の初動対応について学んだほか、受水層の使い方や備蓄物資の保管場所などの確認を行いました。さらに、避難所運営ゲーム（HUG）を実施し、厳冬期に災害が発生したという設定で、避難所運営を体験しました。

## 山鼻ふれあい子育てサロン（原則、毎月第3木曜日）

〔山鼻地区社会福祉協議会、山鼻地区民生委員・児童委員協議会〕

山鼻地区福祉のまち推進センターでは、子育てサロンを月1回、山鼻会館で開催しています。

新型コロナウイルス感染症対策として、会館の都合がつくときには、部屋を2つ繋げて通常よりも場所を広くとって開催しており、訪れた子ども達が元気よく動き回る姿が見られました。8月3日のサロンでは、あいにくの雨のため予定していた屋外での水遊びは中止となりましたが、室内にたらいと水遊び用のおもちゃを置いて、子どもたちに楽しく過ごしてもらいました。

▼ 8月3日子育てサロンの様子【左：会館内／右：屋外での水遊び】



### 自転車安全利用教室（8月2日（水）・3日（水））

〔町内会連合会、交通安全実践会、交通安全指導員会、交通安全母の会、山鼻児童会館、山鼻かしわ児童会館〕

山鼻かしわ児童会館及び山鼻児童会館で、自転車の正しい乗り方を学ぶ自転車安全利用教室が開かれました。この教室は、危険な自転車走行が社会問題となっていることを踏まえ、地域の児童に自転車の安全な走行を学んでもらい、交通安全の啓発を図ることを目的としています。



▲ 8月2日山鼻児童会館の様子



▲ 8月3日かしわ児童会館の様子

小学校1年・2年生を中心とした参加児童計〇人（山鼻児童会館27人、山鼻かしわ児童会館〇人）が、南警察署員の指導のもと、自転車シュミレーターの操作を通じて映し出された走行風景を見ながら、安全走行のポイントを確認し、自転車の乗り方を楽しく学びました。

### 中央区防災訓練（9月5日（月））〔山鼻町内会連合会〕

山鼻会館横の中央区ゲートボール場で中央区防災訓練（中央区主催）が4年ぶりに行われました。感染対策を十分行ったうえで、規模・内容を縮小し、様々な災害時に汎用的に対応できる災害対応物品等の動作確認、展示が行われました（災害用発電機動作訓練、応急救護所設置訓練、応急給水訓練等）。山鼻町内会連合会からも3名が出席しました。



▲ 9月5日訓練の様子

### 令和3年度行事紹介

※令和4年3月1日発行の協議会NEWSでは紹介できなかったに1訂正あり。

### 山鼻未来講座ーヤマハナを知るー（令和4年3月26日（土））〔山鼻未来・ネットワーク協議会〕



山鼻未来講座」を3月26日に中央図書館3階講  
。「山鼻の地形と地史」をテーマに、札幌市博物  
時間の講話をしていただき、札幌の地形の成り立  
と。その一部をご紹介します。

山鼻地区は、豊平川が長い年月をかけて藻岩山  
側から東側に移っていくことによってで  
きた3つのタイプの扇状地、1つ目は1万年から4,000年前まで形成された扇状地、2つ  
目は4,000年前から2,000年前に形成さ  
れた扇状地、そして3つ目は2,000年前  
以降に形成された扇状地、それぞれが重  
なっているそうです。

山鼻地区の中では電車通りなども含め  
てごく身近なところで、道路にある『へ  
こみ』から豊平川の古い流れの跡を今も  
幾つも確認することができるそうで、講  
師自ら歩いて撮った『へこみ』の写真を  
落とし込んだ地図が配布されました。

▲ 3月26日古沢学芸員による講話の様子

## 山鼻未来・ネットワーク協議会 構成団体

(23 団体)

- |                  |                  |
|------------------|------------------|
| 山鼻町内会連合会         | 山鼻地区統計調査員協議会     |
| 山鼻地区民生委員・児童委員協議会 | 山鼻青年会            |
| 山鼻地区社会福祉協議会      | 札幌市立山鼻小学校 P T A  |
| 山鼻スポーツ振興会        | 札幌市立幌南小学校 P T A  |
| 札幌市赤十字奉仕団山鼻分団    | 札幌市立伏見小学校 P T A  |
| 山鼻地区青少年育成委員会     | 札幌市立山鼻南小学校 P T A |
| 山鼻地区交通安全指導員会     | 札幌市立柏中学校 P T A   |
| 山鼻地区交通安全母の会      | 札幌市立山鼻中学校 P T A  |
| 山鼻地区交通安全実践会      | 山鼻かしわ児童会館        |
| 札幌中央消防団山鼻分団      | 山鼻児童会館           |
| 山鼻地区地域安全活動推進委員会  | 札幌友の会山鼻方面        |
| 第三山鼻祭典区          |                  |

山鼻未来・ネットワーク協議会は、山鼻地区において関係機関諸団体と連携を図り、問題の解決や目標の実現に向けて相互に理解し合い、協力をして、これからの山鼻地区のあるべき姿（地域性）の方向性を創り上げ、住みよいまちづくりにかかわる諸施策を推進することを目的とした団体です。